

海ごみの回収・運搬・処理

対馬市では漁業者などの協力を得ながら回収事業に取り組んでいます。予算などの関係から全量を回収することはできず、年間約8千㎡にとどまります。山がちな対馬では、急峻で複雑な地形条件が相まって、海岸へのアプローチや搬出作業は容易ではなく、細々としたごみまでも回収するのは極めて困難です。

海岸で回収された海ごみは対馬クリーンセンター中部中継所に運搬・集積され、発泡スチロールはペレットに、ブイやカゴ等の硬質プラスチックは破碎フレークに減容処理されています。リサイクルされている海ごみは1割程度で、漁網などは最終処分場に運ばれ埋め立て処理されています。



回収作業

対馬クリーンセンター中部中継所へ運搬

集積



処理



最終処分



漁網・ロープ

運搬

処理



硬質プラスチック類の再選別
(ブイ・カゴ・タンク類を色別に)

破碎



発泡スチロールの前処理

減容



破碎



破碎機

破碎



ペレット化機器

減容



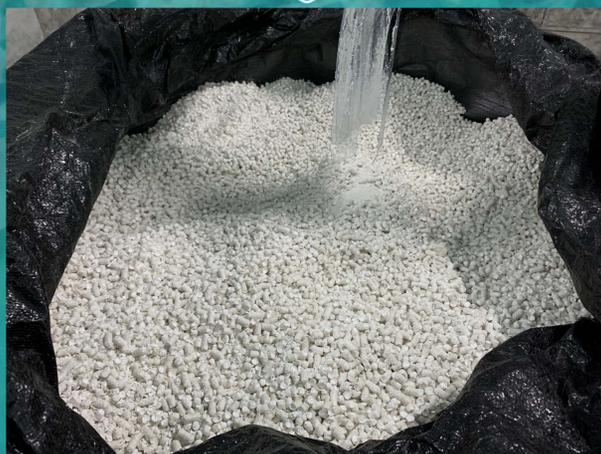
自走式木材破碎機

自走式ロータリースクリーン
(破碎後のチップの選別、木くず混廃の選別・土砂除去)

破碎



硬質プラスチックの破碎フレーク



発泡スチロールの減容ペレット



流木の破碎チップ